

### 個票3 透水性舗装の実施 [道1(1)④1-1]

(2010年作成)

配慮の視点	生態系の多様性への配慮	配慮項目	生き物の生息・生育空間となる多様な自然とそのつながりの保全・創出
配慮事項	豊かな土壌の保全・回復・形成		
配慮事例	透水性舗装の実施		

内容	<p><b>●透水性舗装の実施</b></p> <p><b>【解説】</b></p> <p>透水性舗装は、舗装路面から浸透した雨水を舗装各層を通して路床にまで浸透させる舗装です。そのため、<u>地下水涵養、雨水流出抑制、路面温度の上昇抑制</u>といった効果が期待されています。</p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b></p> <p><b>●透水性舗装</b></p>				
		開粒度アスファルト舗装	コンクリート平板	インターロッキングブロック	レンガブロック
	一般部				
	4t以下乗入部				
4tを超える乗入部					
<p>出典:1</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>① 透水性舗装材等(表層)の下に浸透層を設けます。</p> <p>② 砂層(フィルター層)の下の路床については、土のかく乱、過転圧等を避けます。</p> <p>③ 砂層(フィルター層)には路床土が混入しないようにします。</p> </div>					

**【事例】**



出典:3

**【場所】**

兵庫県 国道 175 号 (水分かれ街道)

**【環境配慮の内容と方法、工法】**

- 雨天時の歩きやすさや吸音、路面温度低減などの効果を狙い、透水性や排水性などを実施した。
- 歩道部分については誰もが歩きやすい道とするため、歩道の舗装は、透水性舗装を基本とした。

留意点

- 大型車の駐車場など加重のかかる場所の表層(舗装材)については、十分な強度を有する材料を選定する。
- 大型車が走行をする道路では空隙がつぶれ、機能低下が生じる。
- 空隙内に砂、泥が詰まることから数年で機能低下が起こる。
- 補修時には全面的な舗装の打ち換えが必須となる。

参考資料

- 1 「土木技術管理規定集」兵庫県県土整備部
- 2 「自然にやさしい技術 100 事例 人と自然の共生をめざして」神奈川県
- 3 兵庫県 HP ( [http://web.pref.hyogo.jp/tn04/tn04\\_2\\_000000142.html](http://web.pref.hyogo.jp/tn04/tn04_2_000000142.html) )